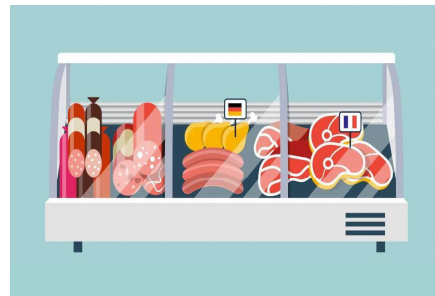


ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 23  
2024・2・19

1 原産地表示の義務化を未包装の生鮮・冷蔵・冷凍の肉にも拡大  
ー 2024年2月1日以降、EUに先駆けて実施ー (2024・2・1)

消費者は自分の食べる食品がどこから来たのかを知りたがっている。農業者にとっても原産地表示は、長年の願いである。そのため、連邦食料・農業省は義務化された原産地表示を、EUレベルでも導入するよう取組んできている。

連邦食料・農業省は包装前の生鮮、冷蔵ないし冷凍の豚肉、羊肉、ヤギ肉そして家禽肉の原産地表示の義務化を、EUに先駆けてドイツ国内で先行実施する。



### 消費者は透明性の高い購入決定ができる

この原産地表示の義務化は、透明性の高い買物を可能にした。包装した家畜の肉の原産地表示は、既に EU 一般食品表示法でもって義務化されている。連邦政府は連立協約において、広範な食品の原産地表示を目標に掲げている。

ドイツは新しい原産地表示の義務化が、EU 域内でも統一的に実施されるよう尽力している。

連邦政府は 2024 年 2 月 1 日から、新しい規則をドイツ国内で先行させた。

それは EU ーレベルでの原産地表示の義務化を拡大し、包装前の生鮮、冷蔵ないし冷凍の豚肉、羊肉、ヤギ肉そして家禽肉を対象とする。これには未加工の肉が該当する。例えば、精肉店、スーパーマーケット、農場直売店または週末市場である。未包装の牛肉は既に原産地表示がされている。

## 消費者のための情報

加工前の生鮮、冷蔵または冷凍した豚肉、羊肉、ヤギ肉そして家禽肉への原産地表示拡大のために：

- 一 原則的に飼育国、と殺国で表示がされねばならない。この情報は食料チェーンに沿って、販売における食品企業もまた表示する。
- 一 同じ国で飼育、と殺が行われる際に「原産地（国）」、つまり原産国ドイツで実施と表示される。
- 一 原産地情報は最終消費者の肉購入決定前に、確実にそして明確によく読めるように提供されねばならない。これは食品ラベル、価格表示または電子的に直接表示される。
- 一 原則として原産地に関する情報は、具体的な食品に関するものであること。販売会社が主に同じ原産地の肉を販売する際に、同時に販売される他産地の肉についても、別に確実に表示しなければならない。

## 原産地表示の拡大のためのEU一委員会の提案

食品の原産地表示は、EU一委員会の「農場からフォークまでの戦略」の一部である。EU一委員会は現在義務化された原産地表示について、以下のように試行する。

- 一 牛乳と原料としての牛乳
- 一 原料としての肉
- 一 うさぎ肉と野生動物の肉
- 一 米
- 一 パスタのデュラム小麦
- 一 特定のトマト製品に含まれるバレイショとトマト

EU一委員会は、影響分析を行った立法上の提案を提示すると公表した。

## 次のステップ

- 一 連邦食料・農業省は、義務化された原産地表示を広範な食品に拡大するというEU一委員会のプランを基本的に支持する。
- 一 我々は加盟国レベル（例えばドイツ）での原産地表示の拡大で、表示の義務化を望んでいる。任意の地域表示も、可能な限り継続すべきである。新たな原産地表示の計画は、EU一委員会の影響調査と該当する関係者の意見聴取と経験、議論を考慮すべきである。

- 一 EU 一委員会はこれまでケーターリングに関する立法案を提示していないが、ドイツはこれまで提案している「家庭外一ケーターリング」における食肉への原産地表示の拡大を要請する。



包装された生肉には既に原産地表示（ドイツ）されている。



2024年2月1日から、未包装の生肉にも原産地表示が実施。

## 2 EU 一委員会：食品包装資材に含まれるビスフェノール A に厳しい規制

一妊娠している女性、胎児、乳幼児の健康に悪影響が懸念一（2024・2・12）

連邦食料・農業省はビスフェノール A（訳注 1）について、食品に接触する包装資材において、EU 一域内で将来的により一層厳しく規制するという、EU 一委員会の方針を支持する。EU 一委員会は食品に接する包装資材に、ビスフェノール A の使用禁止のための規制案を、2024年2月9日に提案した。



ビスフェノール A の規制案を提出した EU 一理事会

これについて政務官シルヴィア ベンダーが説明した：

”食品に接触する資材の安全性は、連邦食料・農業省にとって、特別に重要な関心事である。このため、我々はこの対応の具体化について、EU 一委員会を強く支持する。ビスフェノール A は、日常生活で使用する多くの製品の中に含まれている。この化学物質は特に缶のコーティング、ボトルキャップ、特定のプラスチック、接着剤、チューブ、ペットボトル等の製造に使用されている。そしてビスフェノール A は、これら製品に接している食品に移行する。今あるこの提案でもって、健康上のリスクを明らかに減少できる。”

EU ー委員会は健康上の悪影響を減らすために、食品接触資材の安全性に関するEU法上の必要条件を既に整えている。それは特にこの物質の食品中への移行に係る限界値である。今あるEU ー規則は新たな知見の公表次第、継続して見直しがされる。ヨーロッパ食品安全機関（EFSA）は、ビスフェノール A を新たに評価し、その結果を 2023 年 4 月に公表している。これまでの健康上の指標値が引き下げられたので、今EU ー委員会はビスフェノール A の規制値を公表し、そして市民、事業者、加盟国に 4 週間の使用禁止を通知した。

この禁止対策はプラスチック、塗料そしてコーティング剤、イオン交換樹脂、ゴム、印刷インク、接着剤の製造を対象としている。だがしかし、個々の使用分野でまだ適切な代替策のない状況である。このため、18 カ月間の移行期間の譲歩が認められる。同時にそのような食品接触資材の生産の適切な、そして特に安全な転換を実施する。これは例えば、特に酸性食品のためにより高い耐性が求められるコーティングが該当する。または食品製造のための生産用具一式に、ベントイル生地（訳注 2）、視聴窓（作業プロセスをチェックする隙間）、測定機器がしっかりと組み込まれるべきである。既に食品製造において流通中に見つかったアイテム（道具）は、10 年の使用期間が与えられる。

（訳注 1：特定のプラスチックや樹脂を製造するために、他の化学物質と合わせて使用される物質。例えば、これで製造されたプラスチック容器に入れられた食品に接触することで、ビスフェノール A が食品に移行し、そして人体に取り込まれる。この物質は内分泌攪乱物質であり、内分泌系の機能を変化させる。特に妊娠している女性、胎児、乳幼児に健康上の悪影響が懸念されている。）

（訳注 2：綿の糸を限界まで打ち込んで織った高密度の生地）



人体への悪影響で規制されたビスフェノール A

この物質が含まれるプラスチック容器

同じくボトルキャップ

## 食品接触資材を通じてビスフェノール A は人体に移行



プラスチック容器の飲料水

プラスチック容器の果物

缶詰容器の果物



欧州食品安全機関 (EFSA)



食品の安全性を調査する研究員

### 3 2024 世界有機見本市が 94 カ国からの参加で開催される

ー 2024 年 2 月 13 日から 16 日までニュルンベルグでー (2024・2・13)

全世界からの有機出品者が、有機分野の新産品を紹介している。連邦食料・農業大臣オズデミールは、開会挨拶の中で有機一市場がかつての強さを取り戻していることを強調した。”これは企業、消費者、加工業者または自然資源保護のために喜ばしいことである。2024 年の有機見本市には、94 カ国から 2 500 人以上の出品者が参加している。



開会の挨拶を述べる  
オズデミール大臣

第 35 回有機見本市のテーマは、女性に焦点が当てられている。まさに今、このことが求められている”と、大臣は述べた。さらに”女性無しには経営がなりたたない。この見本市に併催している国際会議は、特に重点テーマに「未来のための食料：女性と持続可能な食料システム」を設定している。”注目すべきは家庭外一ケータリングである。会社のレストラン一食堂、学生食堂における有機一産品の提供は、有機需要の新たな開拓のための重要な手段 (テコ) である。

オズデミール大臣は、有機見本市開会後の会場巡回時に、有機一 AHV (Animal Health Vision) ロゴを、ヒップ社の社員食堂に授与した。この会社のレストランは、90%の有機産品割合の使用を証明する、ゴールドの新しい表示を最初に付した会社の1つである。

### 有機見本市における連邦食料・農業省の展示

” 連邦食料・農業省は有機見本市の代表になっている。我々は 9 ホールの 9-351 ブースで、連邦農業食品局 (BLE)、ユリウス キューン研究所 (JKI)、チューネン研究所 (TI) そしてマックスループナー研究所 (MRI) とともに有機関連の研究を紹介している。訪問者は我々のブースで多様な、そして対話式的プログラムを期待できる。

- ー 価値創造チェーンの強化プロジェクト
- ー 資源研究における洞察と展望
- ー 有機一認証マークと有機一産品輸入のための情報

連邦食料・農業省の広範囲に作成した情報キャンペーンで、「有機？ そうだねロゴ！」は、11 月以来国民に EU 一有機ロゴと有機農業一食料経済の付加価値について、情報提供をしている。この見本市で今年のモチーフを、見本市のブースに組み込んでいる。このキャンペーンの主役は、有機農業者、パン屋、商店主であり、オズデミール大臣が参加に感謝を述べた。連邦食料・農業省の有機一戦略 2030 もまた、有機見本市で重要なテーマである。政務官シルビアベンダーは、2 月 15 日の 10 時～ 11 時 30 分の有機見本市の会議で業界の代表者と議論する。



2024 年有機見本市会場  
(ニュルンベルグ)



会場には 4 日間で 5 万人が訪れた。



ここでは9億700万ユーロ（約1451億2000万円）が活用可能である。また、これに加えて各州では、気候と変革基金（KTF）から1億2500万ユーロ（約200億円）が活用可能である。これは村など地方自治体の結束のための、農村地域への強力な意志表明である。我々は財政的な約束でもって、村中心地の再開発、モビリティや青少年センターへの支援についても、さらに強化することができる。その際、最終的にGAKにおける財源の使用をより柔軟に、そして各州が簡単に財政投入できるように支援する。

これはまた、気候変動に強い森林への転換において、さらに有利に財源投資が可能である。そして災害に遭遇した森林も、現地の林業経営もまた支援される。私は連立政権協約が農村地域への約束を、行動に移したことを喜んでいる。さらに良い情報、我々の連邦プログラムスタートのための財源が、家畜飼育における畜舎（具体的には豚舎）を対象に可決された。家畜飼育はドイツにおいて、将来性を持つべきである。そしてこれは次の事を可能にする。

我々は今、より多くの家畜の福祉は、消費者の要望を叶える「ビジネスモデル」にすることで可能となる。

我々は10億ユーロ（約1600億円）でもって、豚飼育の豚舎改築のための要望に応えることができる。将来を見据えた家畜飼育のために、各々の政策がより多くの資金を準備している。我々はこれでもって、ボルヒェルト委員会並びに農業将来委員会の勧告を、具体的に実践できる。EU一委員会は、まさに緑の光をこの奨励プログラムに与えてくれた。この度有効となった拡大原産地表示とともに、ドイツにおける家畜飼育の将来のために、強いシグナルを送った。

我々は将来を指向し、そして抵抗力のある価値創造チェーン構築のための更なる刺激を与え、加えて有機農業連邦プログラム（BÖL）の増額でもって、生産物加工の新しいチャンスプログラムでもって農場を支援する。さらに我々は、連邦食料・農業省の見本市プログラムについての財源を、前年度そのままに確保している。我が省の外国見本市プログラムでもって、農業・食料分野の小・中規模経営を、アクセスがしばしば難しい外国市場への参入を支援する。

最後に農業者の社会保険について節約されてはいない。これは私にとって、当初から重要な関心事であった。同時に緊縮財政は農業を無傷にしたわけではない。これはまさにこの時代において、農業が膨大な挑戦を前にして、痛みも伴っている。



私は農業者が、自らの仕事で生計をたてられることを望んでいる。我々の食卓が毎日食料で覆われるには、農業者を必要としている。そしてまた、農業者は農村地域を支えていることから、我々は彼らを必要としている。そのため、いまこそ、農業者のこのような役割に対して、ふさわしい評価を与えるだけでなく、彼らを支える良い枠組み条件を構築するために、我々すべてが協力すべきである。

## 背 景：

連邦食料・農業省の財政は、連邦財政の必要な統合整理で、前年対比で約 3 億 2 000 万ユーロ（約 512 億円）減少して、連邦議会の第 3 読会を終了した。連邦参議院は今日（2 月 2 日）連邦財政を承認した。

## 連邦食料・農業省財政の基本的な事項：

### 家畜飼育転換のための連邦プログラム

- 一 家畜に適した畜舎建築への転換奨励のために、より多くの家畜保護に必要な継続的な追加経費の補助がスタートする。連邦プログラム「家畜飼育舎の改築」に際して、10 億ユーロ（約 160 億円）が準備されている。これまでの豚舎の改築と新しい豚舎の建築は、全州における豚舎の同じ奨励条件を保証する。EU の援助認可が間もなく決定され、奨励プログラムの実施が始まる。この支援によって現行の追加コストについても、ポールヒェルトー委員会の中心点として決定される。

### 農業構造と海岸保全の改善の共同課題 (GAK)

- 一 GAK について国内の農業構造奨励の中心は、2024 年に合計 9 億 700 万ユーロ（約 145 億 2 000 万円）並びに付加的に KTF から GAK 一政策のために、1 億 2 500 万ユーロ（約 200 億円）が、森林改造のために使用できる。これでもって GAK 一資金水準が前年並みに達している。
- 一 連邦食料・農業省はまず第一に閣議内の予算編成の分野において、提起されていた削減が約 1 億 5 000 万ユーロ（約 240 億円）となった。一方、議事進行の中でさらに 6 700 万ユーロ（約 107 億 2 000 万円）が増額された。
- 一 連邦食料・農業省については、GAK 一財源は不可欠である。なぜならば、農村地域における現地での投資は、強い経済と市民参画そして農村での共同を強化するからである。また、付加的に KTF から GAK 一政策のために、約 2 500 万ユーロ（約 200 億円）が、森林政策に使用できる。

- 一 最初の予算削減に対して、まず第一に閣議内の予算編成の分野において提起されていた削減が、約1億5000万円（約240億円）となった。また、議事進行のプロセスでさらに6700万ユーロ（約107億2000万円）増額された。
- 一 GAKの海岸保全に際して、身体と生命の保護並びに著しい資産価値にとって重要であることから、削減が実施されなかった。2022年から2023年にかけて、2500万ユーロ（約40億円）から4800万ユーロ（76億8000万円）と大幅に増額されていた。この財源は2024年も変更なく実施される。

### 農場のチャンスプログラム

- 一 新たな「農場のチャンスプログラム」は、3000万ユーロ（約48億円）を準備している。この財源は追加してさらに利用できる。この新しいプログラムは、地元産の蛋白作物の生産を奨励し、家畜飼育から蛋白一気候に優しい食料（例えば藻類、マメ科作物、キノコ、オーツ（燕麦）ミルクの製造）に転換したい農業者を支援する。



村に賑わいを・村中心部の再開発



農村に青少年センターの設立



気候変動に強い森づくり（バイエルン州）



家畜の福祉に適合した豚舎。  
屋外気候に触れ広いスペース、藁も。



荒れる北海での操業・命と身体を守る対策経費はGAKで確保



「農場の新たなチャンス プログラム」  
燕麦ミルク（オーツミルク）の加工場



燕 麦

2024・2・18 訳  
青森中央学院大学  
地域マネジメント研究所  
中川 一徹

